

近藤忍後援会 2018 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



後援会の皆様には日頃から大変お世話になっております。

2007年5月から3期12年の市議会議員を務めた近藤忍の昨年1年間における活動の一端を本年も報告させていただきます。本年は4月に統一地方選挙が予定されており、少数激戦の厳しい戦いが予想されます。近藤忍は今までの議員活動で培ってきた経験や人脈を活かし、木更津市のために働き続けて参る所存ですので、ご理解賜ると共に、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願いいたします。

2019年2月

後援会長 江野澤政広

1. 定例議会における活動報告

市長選直前の3月議会では会派羅針盤として代表質問を、他の3定例議会では個人質問を行いましたので、その概要を報告させていただきます。詳細は木更津市と近藤忍のホームページに記載されております。

3月定例議会：「これまでの政策・これからの政策について」

渡辺市長任期終了直前の質問として、前回の選挙公約の取組状況と評価を聞き、未達成の公約を今後どの様に対処するのか質問しました。その結果として駅前庁舎に自習室が出来るなど変化が生じています。

また今後の課題として、拡大が続く行政予算の財政規律やアクアコイン等のデジタル化戦略、火葬場や水道事業の広域化といった様々な問題についての方向性を確認しました。

6月定例議会：「保育事業・観光事業について」

依然として解決しない木更津市の待機児童問題の原因を分析して指摘し、解決する方法を数多く提案いたしました。待機児童問題は単に福祉の問題だけではなく、木更津市に移住を検討している若い世代が躊躇する要因になりかねません。質問の結果、人材派遣会社から保育士を受け入れて待機児童を減らす事が出来そうです。

観光に関しては、2018年の観光協会の組織改正により自主事業に取り組み始め、攻めの観光が開始されましたが、それに伴う問題や行政の対応について質問し、観光を核に経済が活性化される事を要望しました。

9月定例議会：「学校再編・水道統合について」

2018年7月18日に新たな学校規模適正化審議会が設置され、今後の学校の在り方の検討が始まりましたが、その方向性について確認するとともに、廃止された校舎の活用方法の決め方について方針を確認しました。中郷中学校では3社から提案がありスポーツで活用したいという業者が優先交渉権を得ましたので今後を注視します。

また、2019年に近隣四市と君津広域水道企業団が統合して事業が開始される「かずさ水道広域連合企業団」について現在の課題と今後のスケジュールを確認しました。



12月定例議会：「持続可能なまちづくり」

かずさアカデミアパークの事業用地が好調に販売された結果、新たな企業を誘致する用地が不足するという産業振興の課題。市街地部分の開通が望まれる中野畑沢線を始めとした道路整備の課題。2019年4月から木更津市で初めての地域交流センターが出来る中で取り込まれる市民活動の課題。異常気象や大規模地震が想定される中で市民意識が高まっていない防災対策の課題。これら4点について質問を行いました。特に産業振興については、伊豆島地区にボルシェの体験施設建設が発表されるように市街化調整区域での需要が高まることが予想されますので、今後は民間による産業用地の開発を誘導するなどの対策が望まれる所です。

※ 議会質問の全文は近藤忍のHP [<http://sinobu.com/situmon/sindex.html>] と
木更津市議会のHP [<http://asp.db-search.com/kisarazu-c/>] で読むことが出来ます。
またインターネット配信 [<http://www.kisarazu-city.stream.jfit.co.jp/>] では動画を見ることが可能です。

2. 委員会や議会内における活動報告

基地対策特別委員会では前回の改選とともに委員長を務めています。委員長就任以来毎年行っている基地関係要望書の提出を2018年7月9日に行いました。また、基地との共生を進める都市として11月に小松市の視察を行いました。**総務常任委員会**では、総務・企画・財務・消防等の業務についての調査や審査を行っており、その一環として10月に磐田市の広報戦略・富士市の防災対策・島田市の地方創生事業の取組等を視察しました。

議会基本条例を策定した**議会基本条例策定特別委員会**は名を変え、3月より**議員政治倫理条例策定特別委員会**として年内に11回の会議を行うとともに半田市や新城市で政治倫理審査会の課題を視察しました。今後は2019年の3月議会で政治倫理条例を議決し、改選後の5月1日から適用する予定です。

議会運営委員会ではペーパーレス議会の運用ルールを深める一方で、議会間の交流や災害時の連携を求めて友好議会の選定作業を行いました。また8月には北海道芽室町と帯広市で議会改革の取組を調査して参りました。



所属会派の**羅針盤**は木更津市議会の最大会派として9月27日に渡辺市長に対し要望書を提出しました。全文は私のホームページに記載してありますが、概要は元旦に会派報として全戸配布いたしました。行政課題の調査のため8月に境港市のクルーズ船就航時の対応・島根県海士町の移住定住施策・松江市の小中一貫教育を視察しました。また、議会選出で**君津広域水道企業団議会**や**都市計画審議会**においても役割を果たし、全国の議員が任意で参加する**防災ボランティア議員連盟**にも加盟し旭市で研修を受けました。

3. 地域等における活動報告

「岩根西まちづくり協議会」の主催する春の防災訓練・夏の地域交流ラジオ体操、秋の岩根地区文化祭等の様々な行事や会合に出席し住民の方々と意見交換をして参りました。「やっさいもっさい」では、まちづくり協議会の副連長として参加し、小櫃川さくら祭りや太田山竹取物語等ではスタッフとして活動しました。



4. 2019年の取り組み

木更津市をオリンピックキャンプ地に選んだ国名の発表、外航クルーズ船の就航や鳥居崎公園の民間活用、富岡小学校の跡地活用などが話題になるでしょう。市内小中学校の全教室にエアコンを設置する工事が進み、公共施設再配置の検討の中では市民会館の在り方が問われ、新市役所をどうするかという議論が始まり、待機児童解消に向けた保育園の民営化、大規模地震に備えた防災対策等の対応も進みます。広域連合となる水道事業は議会の機能強化が求められ、市議会も市民意見をどのように反映するか検討が進むでしょう。岩根地区では、巖根駅のバリアフリー化と快速停車に向け2018年から進められている協議が地元で提示される事と思います。

このように渡辺市政も5年目となり様々な取組が始まる中で、議会の力量が問われる年になります。

近藤忍は市議会議員としての12年の経験とともに技術者の視点も活かしこれらの問題に取り組みます。

5. 統一地方選挙に向けて

2019年4月14日には木更津市議会議員選挙が告示されます。後援会の皆様のご理解とご協力を頂き、近藤忍は2007年以来3期連続で当選を果たして参りましたが、その得票数の順位は20位・18位・18位と下位が続いてきました。これはひとえに近藤忍の努力不足によるものですが、引き続き皆様のご協力を伏してお願いし、今回もご支援を宜しくお願い申し上げます。また3月末には**事務所を開設**しますので、併せてお知らせいたします。

6. 後援会の案内と入会のお誘い

近藤忍の議員活動を励ますため、後援会活動を一層強化したいと考えております。近隣や知人で近藤忍後援会へ入会を希望される方が居られましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。ご連絡は後援会事務所を直接訪問いただくか、郵送・電話・FAX・メール等にてお願いします。また、本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記までその旨をご一報下さい。

